

Rotary

District 2830

Governor's Monthly Letter



2017

4 月号

ガバナー月信

content

Governors' Message01

ロータリーモーメント

・三沢東 RC02

・八戸中央 RC03

IM開催報告04

会員基盤強化・戦略計画セミナー07

米山奨学生修了証書授与式及び歓送会10

米山梅吉記念館便り11

ロータリー財団・

米山記念奨学金寄付者12

会員動静

文庫通信 4月号13

2017年2月出席報告14

2017年4月5月の行事予定15

国際ロータリー第2830地区

2016-2017年度

ガバナー 長嶺康廣

2016-2017 ガバナー事務所

<http://www.rotary-aomori.org/2016/>

〒039-1165 青森県八戸市石堂二丁目9-9 長嶺会計事務所 TEL 090-2950-8416 FAX 0178-51-9265



Governors' Message



国際ロータリー第2830地区
2016-17年度 ガバナー 長嶺康廣



2月18日に南グループの Intercity Meeting (IM) が開催されました。詳細な報告は源新和彦ガバナー補佐の方から有ると思いますが、講師の本田博己第2840地区（群馬県）バスターガバナーの言葉で印象に残った事を紹介したいと思います。2016年4月の規定審議会でクラブに大幅な柔軟性が認められたわけですが、我々も次の規定審議会に立法案を提出して私達の意見が世界にどこまで通用するのか試してみようではないかと言う事でした。

これまで私達は立法案を出さずに、規定審議会で決まった事柄に対して後からどうのこうのと批評を加える評論家的立場に甘んじていましたが、これからは「こんなロータリーにしたい、こうなったらもっと素晴らしいロータリーになるはずだ」という立法案をどんどん提出して規定審議会に積極的に参加するべきだと思います。皆様ご承知の通り立法案はクラブ、地区大会等が提案できます（RI細則7.020.）。立法案は、制定案もしくは決議案という形で提出されます（RI細則7.010.）。つまりクラブや地区で立法案をどんどん提出して私達の意見が、日本のロータリアンの意見がどこまで世界に通用するのか立法案を出していきましょう。そのためには我々もロータリーについてもっと勉強をしなければなりません。それがまたロータリーを深く理解することにも繋がり、世界の中で日本のロータリーが孤立しない事にも繋がるはずです。規定審議会に立法案を提出できるような自立したクラブや地区になる為、お互いに切磋琢磨し成長していきましょう。

さて4月は「母子と健康月間」です。2014年10月RI理事会は、重点分野である「母子と健康月間」である4月を、5歳未満の幼児の死亡率と罹患率の削減、妊婦の死亡率と罹患率の削減、より多くの母子に対する基本的な医療サービスの提供、保健従事者を対象とした研修、保健ケアの提供、母子の健康に関連した仕事に従事することを目指す専門職業人のための奨学金の支援を強調する月間としました。

今年度の当地区、地区大会では対馬ルリ子氏による記念講演「母子の健康」を一般公開として実施しましたがこの記事は「ロータリーの友4月号」に掲載の予定です。

さて2014年RI理事会はロータリーの6つの重点分野を強調月間としました。つまり9月は「基本的教育と識字率の向上月間」、10月は「経済と地域社会の発展月間」、12月は「疾病予防と治療月間」、2月は「平和と紛争予防／紛争解決月間」、3月は「水と衛生月間」、4月は「母子の健康月間」です。これら6つの重点分野の奉仕活動をするにはロータリー財団のグローバル補助金を活用する方法があります。グローバル補助金を申請するためには次の要件を満たす必要があります。

①6つの重点分野に該当するプロジェクトであること ②持続的で効果が測定可能なプロジェクトであること ③ロータリー財団の「地区補助金とグローバル補助金の授与と受諾の条件」を満たすプロジェクトであること

「世界で良い事をする」には現実問題としてお金が無いと何もできません。11月の「ロータリー財団月間」に拘らずロータリアンの皆様方には財団へのご理解と浄財の寄付をお願い致します。

RotaryMoment....

三沢東ロータリークラブ

会長 宮野 楠見

36名のチャーターメンバーで発足した我がクラブも、2015年2月には30周年を迎えました。現在の会員数は30名です。

毎回、例会が始まる前から（始まってからも）各テーブルからは笑い声が絶えず聞こえてくるような、そんな雰囲気のクラブです。

色々な社会奉仕活動もしていますが、ゴルフ大会にボウリング大会、中でも一番出席率の良いのがバーベキュー（親睦夜間例会）の時です。三沢はお肉屋さんでバーベキューを注文すると、焼く道具、炭、お肉を持って来てくれます（火起こしもしてくれます）ので大変楽です。一年に3回位はバーベキューをしています。



3月になりました。

2011年3月11日、未曾有の被害をもたらした東日本大震災が発生してからはや6年が経とうとしています。この三沢市においても、二人の尊い命が失われ、物心共に甚大な被害をこうむりました。

三沢東ロータリークラブでは、今後いつの日か再び起こるであろう大地震・津波発生時に被害を最小限に食い止めるためにも、あの東日本大地震の記憶を後世に伝えていかなければならないとの思いから、2015年2月にはクラブ創立30周年を迎えることから、2014年10月、三沢漁港近くの海岸に「津波の証」と刻んだモニュメントを建立しました。

さらに市内小・中学校の生徒から、東日本大震災をテーマとする作文を募集し記録としても残しておきたいと文集を発刊しました。また毎年3月の例会において「震災を語ろう」をテーマに会員の震災時の思い出や今後の防災の教訓などを語り合っています。

あの悲劇を忘れることなく、次世代に語り継いでいきたいものだと思います。





RotaryMoment....

八戸中央ロータリークラブ

佐藤 泰治



ロータリーの魅力とは

ロータリーって何と聞かれたら皆さんはなんと答えますか？私はいろいろな職業人の集まりで地域社会に広く貢献する志を持った人たちの集まりですと答えます。クラブに入会したのが今から9年前の43歳でした。その前の40歳までは青年会議所に所属していたときにロータリーの話はいろいろと耳にしていたもので自分には無理 世界が違うと思いついて絶対入会はすべきではないものと考えていました。そういう中で、ご縁がありクラブにオブザーバー出席をしたとき感じたことは皆さんがとても温かく受け入れてくださったこと また当クラブは他クラブとは違い会員数も多いわけではなかったのに馴染むことにはあまり時間がかからなかったことを覚えています。

毎週の例会に出席してみると初めの頃は緊張感のほうが多かったが次第にロータリーの難しさ 楽しさを感じロータリアンであることの自覚を持つようになってきました。ロータリーにはいろいろな職業のかたが在籍し年齢も幅広くそれぞれの考え方を持っているが上下関係なく互いに認め合い交流を深め合えることが最大の魅力だと私自信は思います。また、これからのクラブの維持、発展を望むとき決して無視できないのが会員増強であることはもちろんですが各会員のロータリアンとしての役割を認識し活動することが大切なことと思われます。それには、今までのやり方とあり方を大切にしながら新しい価値を取り入れていかなければならないと思います。

その価値をクラブの全員で共有することで実践つながりこれからのロータリーの発展につながればよいかと願うものであります。

南グループ I・M開催報告

南グループガバナー補佐
源新 和彦 (八戸北 RC)



2016-17 年度南グループ I・Mは、2017 年 2 月 18 日 (土) 15:00 ~ 八戸プラザホテル・アーバンホールにおいて、177 名のロータリアン出席のもと開催されました。

今年度のテーマは「ロータリーの明日を考える」ーロータリーの未来を語り合おうーであり、セレモニーの後 R I 第 2840 地区パストガバナーであり、現在日本のロータリー 100 周年 ビジョン策定特別委員会委員長でもある本田博己様から「ロータリーはどこに行く?」という演題でご講演を頂きました。ご講演では、国際ロータリーの 21 世紀以降の変遷、日本のロータリーの特色、2016 年規定審議会の改訂概要につき大変解りやすく、有益なお話を頂き多くの方々が耳を澄ませて聴講しました。講演後は質疑・意見交換がステージ上の講師と会場のロータリアンの間で行われ、予定時間を過ぎるほど熱のこもった対話となりました。

引き続き開催された懇親会では、オペラ「乾杯の歌」の後、佐々木千佳子ガバナーエレクトの音頭により乾杯が行われ、賑やかな雰囲気の中懇親が深められました。また同時に催された「ロータリー財団 100 周年を祝う集い」では、グループ内各クラブから募集した財団川柳の投票 (寄付) 結果の発表並びに表彰が行われ、集まった寄付総額が 10 万円を超えたことも報告されました。同時にホストクラブである八戸北ロータリークラブの企画によるマグロの解体も行われ、参加者はおろしたてのマグロに舌鼓を打ち、和気あいあいの内に閉会をむかえました。ロータリーの学びと親睦を深める I・M となったのではないのでしょうか。



中締め挨拶、お揃いで

会員基盤強化・戦略計画セミナー

(会員増強セミナー)

2017年2月25日(土)
青森国際ホテル 13:00 ~ 17:00

地区会員増強委員長
三上 貴生 (弘前 RC)

今回の2017年会員増強セミナーは長嶺ガバナーの提案により会員基盤強化・戦略計画セミナーへと名称が変更され行われた。参加者35名、笹森パストガバナー、中村パストガバナー、小山内パストガバナー、北山パストガバナー、鈴木パストガバナー、佐々木ガバナーエレクトが参加して行われた。長嶺ガバナー、笹森担当パストガバナー、三上会員増強委員長の挨拶のあと第1部の参加クラブ近況を中村会員増強委員の司会進行で行った。各クラブの会員増強状態を聞きパストガバナーからも助言をいただきました。その後、三上会員増強委員長が進行し2016年規定審議会の内容を国際ロータリーの動画を見ながら勉強しました。その後、退会防止に向けた取り組みをパワーポイントで説明し、会員満足度調査に向けた取り組みをして頂きたい旨を説明して第1部を終了しました。

コーヒータイムの後、長嶺ガバナー進行で戦略計画セミナーを開催しました。鈴木戦略計画委員長からの説明の後、5グループに分かれ、戦略計画はなぜ必要か、クラブに戦略計画委員会を設置するための具体的対策などをセッションしました。その後グループ代表による報告があり、質疑応答の後、第2部を終了しました。最後に長嶺ガバナーによる講評があり是非、戦略計画委員会を立ち上げ実施してほしい旨の説明があり17:00に終了しました。





クラブ戦略セミナー

A グループディスカッション 報告

報告者 土産田 三徳 (弘前西 RC)

司会：三上 貴生 (弘前 RC)

参加者：鈴木 唯司 PG (青森モーニング RC)、佐々木 和典 (十和田 RC)、
本間 義悦 (青森北東 RC) 菅原 偉久 (大畑 RC)

1・クラブ戦略計画はなぜ必要か？

- ・会員拡大維持をしないとクラブが衰退してゆく。
- ・クラブの目標を持たせるためにも必要。
- ・一人による会員増強に依存すると手詰まりしてしまうし定着しない。
- ・面白いクラブ運営をしないと飽きてしまう。
- ・誰でも入会させればいいわけでもない。出席しない会員もいる。

2・クラブの現状分析

①クラブに戦略計画委員会が既にある。→ クラブがどのように変わったか現状報告

・青森モーニング RC には委員会あり。戦略計画を立て会員増強となったものの、その後ロストシンドロームに陥りマンネリ化してしまった。

再度計画を練る予定との事。

②クラブに戦略計画委員会を設置する予定有。→ 具体的なタイムスケジュール他

・必要と認識しているが、検討中のクラブ多し。

3・クラブに戦略計画委員会を設置するための具体的対策、できない問題点

具体的対策

- ・周年行事を絡ませ計画する。
- ・様々な観点から、若い人・ベテランで編成。会長・幹事は抜き。

問題点

- ・目指す方向性によってはそのクラブの適正な会員数というものがある。
- ・伝統あるクラブや会員の多いクラブではまとめるのが難しい。
- ・設置するうえで出席率の良い会員に限られてしまう。(プロジェクトを考えるうえでいつも同じ会員になってしまう)

4・その他

・戦略計画を立てる前に、各クラブそれぞれの現状を把握する必要がある。各クラブでそれぞれ違う様々な問題あり。会員アンケートなどを活用しクラブの現状を認識。会員の考え・不満などをまとめたうえで、皆で目標を立てることがまず大事ではないかとの結論。



B グループディスカッション 報告

報告者 小林 大真 (弘前 RC)

B グループ 参加者

市田俊次 (十和田八甲)、上野実穂 (八戸中央)、木村由美 (弘前アップル)、
小柴道子 (八戸西)、石倉光夫 (青森モーニング)、小林大真 (弘前：記録) 以上6名



1. クラブ戦略計画はなぜ必要か？

非営利組織であり1年で会長交代がある組織であることから、クラブ活性化（会員増強、運営強化 等）と地域におけるクラブの必要性（存在意義）を高めるため。

参加者からの意見等：

- ・人口減少、クラブの存在に対する危機感、利益を求めない組織だからこそ目標が必要
- ・自クラブの魅力、状況を知る
- ・クラブの活性化、会員増強のため目標が必要
- ・自クラブの進むべき方向性の確認
- ・社会に対しての貢献
- ・地域・社会から必要とされるクラブ
- ・何かをしなければ何も変わらない（時代の流れへの対応）
- ・会員減少防止策（または退会者減少防止策）

2. クラブの現状分析

①クラブに戦略計画委員会が既にある。 → クラブがどのように変わったか現状報告

□青森モーニングのみ

- ・クラブの活性化が図られた（特に、ガバナー輩出時には会員増強が顕著であった）
- ・会員増加、会費の値下げとなった

②クラブに戦略計画委員会を設置する予定有。 → 具体的なタイムスケジュール他

□青森モーニング以外

- ・具体的なタイムスケジュールは未定（理事会等で検討は行われている）
- ・自発的・積極的な取組みが望まれる

3. クラブに戦略計画委員会を設置するための具体的対策、できない問題点

□具体的対策

- ①リーダーによる強力な牽引
- ②期限の設定
- ③全会員によるアンケートの実施（状況分析）

□問題点

- ①当事者意識の欠如（情報共有が不十分、目的が明確でない）
- ②危機感が希薄

参加者からの意見等：

- ・一人ひとりに役割を
- ・共通の意識改革
- ・会員増強→中長期計画→戦略計画へ
- ・メンバー構成に難がある
- ・問題としない意識の低さ
- ・戦略計画を浸透させる（R Iからではなく自ら行う）
- ・メンバーが楽しむため
- ・高齢化対応
 - ・方向性の確認（今から共通の目標が必要）
 - ・危機感を持つ
 - ・失敗も良き糧とする
 - ・“我がクラブ”をつくる

4. その他

特になし





C グループディスカッション 報告

報告者 小林 伯裕 (弘前アップル RC)



2月25日(土)、「会員基盤強化」「クラブ戦略計画」という2つのテーマに視点を当てたセミナーに出席させていただきました。「会員基盤強化」においては会員のクラブに対する満足度調査等が取り上げられ、「クラブ戦略計画」ではグループディスカッションの形式で戦略計画についての意見交換がなされました。

2016年の規定審議会の決定により、従来よりもクラブの裁量が拡大され、様々なクラブのあり方が認められるようになりました。その一方で、個々のクラブが魅力あるクラブであり、会員を増強していくためにはクラブ戦略がより一層重要になったと認識しています。

単年で終了する役員人事において、長期クラブ戦略の存在は、複数年に渡った活動の一貫性をもたらすことでしょう。長期クラブ戦略無き活動は、目的地を知らずして旅に出るようなものと言えるかもしれません。

また、クラブ戦略を策定し会員を増強するにあたってクラブ基盤を強化する事は欠かすことはできないと思います。どれだけ戦略を練って会員を増強できたとしても、一方でクラブを去る会員が多ければ意味がありません。クラブの会員がどのようなことを望んでいるのか、そしてクラブではそれに応える活動・運営が行われているのか、それぞれの委員会はしっかり機能しているのか・・・自らのクラブについてより理解を深めることの重要性を感じました。

仏教の言葉に「智目行足到清涼池(智目行足をもって清涼池に到る)」という言葉があります。智慧の目(智目)とそれに基づいた実践(行足)によって悟りに到ることができるという意で、知識と実践どちらか一方に偏ることなく、あくまで2つのバランスが取れていることの重要性が説かれています。

クラブや地域を良く知り、その特性に合った戦略を策定し、そしてそれに基づいた活動を実践していくことが「人類に奉仕するロータリー」であるために必要であると再認識した今回のセミナーでした。

いろいろと考えを巡らす貴重な機会をいただきましたことに感謝申し上げます。





D グループディスカッション 報告

報告者 吉田立盛 (八戸南 RC)

○グループディスカッション (D グループ)

参加者：佐々木 G E、笹森 P G、石橋 (八戸 RC)、工藤 (八戸西 RC)、吉田 (八戸南 RC)

＜ディスカッションテーマ＞

1、クラブ戦略計画はなぜ必要か

多様な考えのロータリアンがおり、世代間での考え方にも違いがあるため、そういった意識のギャップをすり合わせる為にクラブ戦略計画必要。

2、クラブの現状分析 (ディスカッションに参加した6クラブの集計)

①クラブに戦略計画が既にある

ある・・・1クラブ ない・・・5クラブ

②クラブに戦略計画委員会を設置する予定

ある・・・5クラブ

次年度に戦略計画を立ち上げる予定で準備作業に入っている。

3、クラブに戦略計画委員会を設置するための具体的対策、できない問題点

上記テーマに対して以下の意見が出された。

- ・クラブ内の各委員会組織のスリム化と併せて、クラブ戦略計画委員会をクラブ内に設置していく。
- ・R I にクラブ戦略委員会を作れと言われたからやるのではなく、クラブ自らが、戦略委員会の必要性について認識し、設置しようという意思統一が必要。
- ・会員増強も含め、現状ではダメだという危機感をクラブが感じており、その危機感について共有することが、クラブ戦略委員会の設置に有効。





「米山奨学生修了証書授与式及び歓送会」

地区米山委員長

青森ロータリークラブ 工藤 真人



去る3月4日(土)の米山奨学生修了証書授与式及び歓送会は、長嶺ガバナー、島村パストガバナー、松本パストガバナー、佐々木エレクトはじめ指導教官、カウンセラー、ロータリアン、米山学友会会長、卒業米山奨学生5人の内4名、継続奨学生等 約30名の参加で青森国際ホテルにて行われました。

修了証書授与式では、4人の奨学生及びカウンセラー、指導教官それぞれに修了証書、感謝状が贈られ、カウンセラー、指導教官よりご挨拶を頂戴し、また、奨学生一人ひとりから挨拶をしてもらいました。

奨学生からは、1～2年間の思い出や、カウンセラー、ロータリアンに対しての感謝の言葉を



たくさん頂きました。奨学生の皆さんは、1～2年間という短い時間ではありましたが、一生心に残る時を過ごし、卒業してからの進路は、いろいろですが、青森を第2のふるさととして、また一段と成長してくれるものと確信しています。

今回4人の奨学生の卒業にあたり、アジアの優秀な学生の成長を目の当たりにすることが出来て、改めて米山奨学制度の意義を深く感じた次第です。

今回、米山氏修了証書授与開催にあたり、いろいろご指導いただいた世話クラブ、サブ世話クラブ、カウンセラーに深く敬意を表するとともに、参加いただいたロータリアンの皆様に大変感謝致します。

次年度は、新規の奨学生が7名、継続が1名計8名の奨学生でございしますが、また皆様のご協力をよろしくお願いいたします。ありがとうございました。



米山梅吉記念館便り

シリーズ⑧ 米山梅吉の横顔

米山梅吉は、46歳で「新隠居論」を著しました。一旦名を成した男子はすべからく後進に道を譲り、社会事業に貢献すべしという内容で、報恩会はこの信条の実践の場でした。当時三井一族が3,000万円、現在換算では800～900億円ともいわれる出資をし、社会、文化諸事業に貢献する目的で設立されました。理事長は米山でした。



昭和11年、岩手県視察の三井報恩会一行
(前列中央・米山) ((財)三井文庫提供)

ハンセン病への助成出資はもちろん米山は昭和15年から青森から沖縄のハンセン病棟を訪ね、癌には100万円でラジウムを寄付、結核療養所もほとんど訪問し、高額な寄付もしています。農村振興も多岐にわたり東北の疲弊した農村を復興させ、西平内村には謝恩の記念碑が今も建っています。

春季例祭 ご案内

平成29年4月22日(土) 午後2時～ 式典／講演会

米山梅吉記念館

登録料無料 アトラクションあります。
多くの皆様ご参加ください。

公益財団法人 米山梅吉記念館

〒411-0941 静岡県駿東郡長泉町上土狩346-1

TEL:055-986-2946 FAX:055-989-5101

URL <http://yoneyama-umekichi.jp>

Email: yumh@ai.tnc.ne.jp

[開館時間] 午前10時～午後4時

[休館日] 月曜日/12月28日～1月4日/整理のための休館日(5月・8月の特定日)



米山梅吉関連図書の紹介



B5判 記念館35周年記念誌
本文268ページ/2,500円

米山梅吉の足音 記念館刊

米山梅吉の「生い立ちと人となり」「ロータリーとのかかわり」「記念館の歴史」などが詳細に解説されています。

資料編としては、米山梅吉の会議や大会での挨拶や講演、ロータリー月報やラジオ放送の内容なども掲載。記念館所蔵の図書目録、年表など網羅されています。



ロータリー財団寄付者名

マルチプル・ポールハリスフェロー (MPHF)



八戸中央 R C
山村 益広さん
(1回目)



八戸中央 R C
坂間 義一さん
(2回目)



八戸中央 R C
小向 政文さん
(2回目)

会員動静

新会員



高橋 修さん

青森北東 RC/2月1日入会
SP: 加藤彰



佐々木 栄一さん

十和田 RC/3月1日入会
SP: 立花克也



及川 久さん

八戸西 RC/3月2日入会
SP: 館坂久子



高橋 正知さん

八戸西 RC/3月9日入会
SP: 工藤威美子



山口 龍介さん

八戸西 RC/3月1日入会
SP: 木村幸吉



三浦 節子さん

八戸西 RC/3月2日入会
SP: 工藤威美子



尾崎 雅子さん

八戸西 RC/3月2日入会
SP: 工藤威美子

2月の退会者

服部 雅人さん
(青森中央 RC 2/28)

岡田 雄道さん
(おいらせ RC 2/28)



文庫通信 (355号)

<http://www.rotary-bunko.gr.jp>

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万4千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

講演他

- ◎「日本の出番、祖国は甦る」 青山繁晴 2016 1p (D.2680 地区大会記録誌)
- ◎「世界の中の日本」 五百旗頭 真 2016 9p (第44回ロータリー研究会報告書)
- ◎「日本のこころ」 松長有慶 2015 7p (D.2660 地区大会記録書)
- ◎「職業奉仕の今日的課題と持続企業」 パネラー：前川洋一郎・山本泰人・中川雅雄
2016 6p (D.2580 地区大会記念誌)
- ◎「21世紀をどう生きるか」 安平和彦 [2016] 15p (D.2670・D.2680 第38回 RYLA 報告書)
- ◎「現代家族の課題」 白石大介 [2016] 12p (D.2670・D.2680 第38回 RYLA 報告書)
- ◎「ダウン症の娘と共に生きて」 金澤泰子 2017 6p (D.2690 地区大会記念誌)
- ◎「夢に向かって」 根木慎志 2016 7p (D.2750 第36回インタラクティブ年次大会報告書)
- ◎「若者の未来のためにできること」 養老孟司 2015 11p (D.2660 地区大会記録書)
- ◎「父が見つけてくれたもの」 小林 真 2011 6P (奉仕のともしびを高く掲げて)

[上記申込先：ロータリー文庫]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 3階
TEL(03)3433-6456 FAX(03)3459-7506
<http://www.rotary-bunko.gr.jp>
開館＝午前10時～午後5時 休館＝土・日・祝祭日



2016－17年度 出席報告・会員報告 2017年2月分										
グループ	クラブ名	出席率	例会数	2016－17年度会員数			男性	女性	増減	
				7/1現在	1月	2月				
東第1グループ	む つ	65.0%	3	44	44	44	42	2	0	
	野 辺 地	97.4%	4	19	19	19	16	3	0	
	七 戸	86.3%	4	18	18	18	17	1	0	
	大 畑	74.2%	3	10	11	11	11	0	0	
	東 北	66.1%	4	13	14	14	13	1	0	
	む つ 中 央	73.0%	4	31	31	31	31	0	0	
	六 ケ 所	66.1%	5	33	33	33	33	0	0	
	7 ク ラ ブ 小 計	75.4%		168	170	170	163	7	0	
東第2グループ	三 沢	72.2%	4	25	23	23	23	0	0	
	十 和 田	100.0%	4	25	29	29	23	6	0	
	十 和 田 東	83.3%	4	23	24	24	23	1	0	
	お い ら せ	68.0%	4	11	10	9	8	1	1	
	三 沢 東	79.2%	4	31	30	30	28	2	0	
	十 和 田 八 甲	85.0%	3	79	82	82	82	0	0	
	6 ク ラ ブ 小 計	81.3%		194	198	197	188	10	1	
西第1グループ	五 所 川 原	55.5%	4	60	58	58	51	7	0	
	金 木	75.0%	4	16	16	16	15	1	0	
	鰻 ケ 沢	75.0%	2	16	16	16	14	2	0	
	鶴 田	58.4%	3	12	12	12	11	1	0	
	五 所 川 原 中 央	63.6%	4	45	44	44	39	5	0	
	つ が る	81.7%	4	32	30	30	30	0	0	
	6 ク ラ ブ 小 計	68.2%		181	176	176	160	16	0	
西第2グループ	弘 前	66.3%	4	48	49	49	49	0	0	
	弘 前 東	38.6%	4	11	11	11	10	1	0	
	板 柳	100.0%	2	16	17	17	17	0	0	
	黒 石	78.0%	4	17	20	20	18	2	0	
	大 鰐	82.0%	3	14	14	14	14	0	0	
	弘 前 西	75.9%	4	32	35	35	32	3	0	
	平 賀 ・ 尾 上	96.7%	4	19	19	19	19	0	0	
	弘 前 ア ッ プ ル	75.0%	2	29	30	30	26	4	0	
	8 ク ラ ブ 小 計	76.6%		186	195	195	185	10	0	
中グループ	青 森	74.4%	4	76	79	79	76	3	0	
	青 森 東			10						
	青 森 北 東	70.4%	4	32	31	32	28	4	-1	
	青 森 中 央	50.0%	4	8	10	9	8	1	1	
	青 森 モ ー ニ ン グ	58.9%	4	30	28	28	23	5	0	
	5 ク ラ ブ 小 計	63.4%		156	148	148	135	13	0	
南グループ	八 戸	93.1%	4	63	62	62	62	0	0	
	八 戸 東	100.0%	4	53	53	53	53	0	0	
	三 戸	100.0%	4	13	14	14	14	0	0	
	五 戸	75.0%	4	23	22	22	20	2	0	
	南 部	83.0%	3	12	12	12	12	0	0	
	八 戸 北	88.0%	3	38	38	38	31	7	0	
	八 戸 南	81.0%	4	44	41	41	37	4	0	
	八 戸 中 央	67.7%	4	44	24	24	18	6	0	
	八 戸 西	66.1%	4		25	25	14	11	0	
	8 ク ラ ブ 小 計	83.8%		290	291	291	261	30	0	
41クラブ合計		74.3%		1,175	1,178	1,177	1,092	86		



行事予定

4月				5月			
母子の健康月間				青少年奉仕月間			
日	曜	行事名	開催場所	日	曜	行事名	開催場所
1	土	米山オリエンテーション	青森国際ホテル	1	月		
2	日			2	火		
3	月			3	水	憲法記念日	
4	火			4	木	みどりの日	
5	水			5	金	子どもの日	
6	木	～12日グローバル補助金視察	タイ	6	土	西第1グループIM	津軽富士見荘
7	金			7	日		
8	土			8	月		
9	日			9	火		
10	月			10	水		
11	火			11	木		
12	水			12	金	諮問委員会	富士屋グランドホール
13	木			13	土	地区研修・協議会 ～14日青少年交換研究会	富士屋グランドホール 米子コンベンションセンター
14	金			14	日		
15	土			15	月		
16	日			16	火		
17	月			17	水		
18	火			18	木		
19	水			19	金		
20	木			20	土		
21	金			21	日		
22	土	中グループ IM	青森国際ホテル	22	月		
23	日			23	火		
24	月			24	水		
25	火			25	木		
26	水			26	金		
27	木			27	土	～28日RYLA	青森市国際交流ハウス
28	金			28	日		
29	土			29	月		
30	日			30	火		
				31	水		